

# 全国上映運動第一弾

# 6.2東京東部上映会大成功

## 地域・労組に響き 予想を超える反響共感

# 日刊 動労千葉

86. 6. 4

No. 2257

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二、七二〇七

「俺たちは鉄路に生きる」全国上映運動の第一弾として「6・2東京東部上映会」が、二日江東区総合区民センター公会堂に支部組合員・家族四五名をはじめ、三三〇名の大結集のもとに開催され、大成功をおさめた。上映会は、以後全国津々浦々で開催される。

### 会場を埋めつくす三三〇名の結集

上映会は、東京東部地域で働く多くの労働者や市民・学生の参加のもと、会場を満ばいにしてちとられた。チラシやポスターを見て当日直接会場に来た人も数多く見られた。十八時十分、司会より映画と上映運動について話が述べられた後、開会のあいさつとして松崎前支部委員長が、本日の上映会は、東部ブロック七地区労（葛飾・江戸川・墨田・江東・台東・荒川の各区労協・区労連）の協力のもと、全水道東水労の組織参加をはじめ、全通・東交・教組など、数多くの組合の協力があつたことを紹介し、国鉄分割・民営化阻止にむけて上映運動を成功させよう、とのあいさつを行つた。

すぐに映画上映に入った。参加者は目の前に展開されるストライキの迫力や家族会の討論などのシーンをくいくいするように見つめ、二時間近い上映時間にもかかわらず、途中で席を立つ人もなく最後まで見いつていた。そして、映画が終ると割れるような拍手で応え、まるで自分自身がストを闘いぬいたかのようにあつた。

### 動労千葉を守りぬこう―佐藤芳夫氏―

上映終了後、全造船石川島分会の佐藤芳夫委員長自身も一億円基金運動世話人の立場から、映画の感想を述べつつ映画に表された動労千葉のストライキの意義と、何んとしてもこの動労千葉を守りぬこうという力強いアピールが発せられた。被処分者を代表して、新藤青年部長の闘いの報告と決意表明ののち、関支部委員長より、今後東部地域の労働者とともにたたかひ、物資販売に全力をあげるとともに、分割・民営化阻止にむけて闘いぬこうというまとめで上映会は終了した。

### 延べ二五〇の組合・分会を訪問

この上映会に先立ち、支部は動労千葉オルグ団・青年部とともに三週間にわたって東部各地の組合に上映会への参加・協力の訴えに入つた。東部ブロック七地区労への協力要請とともに、各労組・支部・分会へ会場整理券・チラシ・ポスターをもって要請行動に入つた。延べ二五〇カ所への



参加要請と六〇〇枚の整理券を購入・委託の成果をあげた。

東部地域には、中小民間で不屈に闘いぬいてる争議団が数多くある。「一人の首切りも許さない」「資本の横暴は許さない」と少数でも闘いぬいている労働者がたくさんいる。動労千葉だと言うと「たいへんだね」「よくガンバっているね」「一度は話を聞きたいと思つていた」などと、仕事の手を休めて話を聞いてくれた。また「分割・民営化は反対だ」「自分たちも五〇〇〇万人署名に全力をあげた」「動労は何んであんなになつたんだ」と国鉄問題についての意見がでる。討論しながら映画について訴えると「じゃ、組合員によびかける」と三〇枚の整理券を預かるところや、定期委員会の場で映画上映を訴えさせてくれる組合があつた。チラシを見ての電話での問い合わせも数多くあつた。訪問のなかで分割・民営化に多くの人が疑問をもっていることや、動労千葉の二波のストライキが注目を浴び、関心をもたれていることがあらためて確認できた。

この夏から秋にかけて国鉄決戦・中曽根打倒へむけて、映画上映運動と物資販売活動で、より広範な人々へ訴えかけ、何んとしても勝利するため全力で闘おう。

映画「俺たちは鉄路に生きる」を推薦する



映画監督  
吉村公三郎

### 作ることも又即ち闘争

— 基本理念を思い出させる映画だ —

千葉動労の「俺たちは鉄路に生きる」という記録映画の製作上映委員会が、宮島義勇氏にその監督、構成、編集、撮影を委嘱しただけではなく、その上映にも指導を仰いでいることは、まことに当を得ていると言わねばならない。何故なら、日本の映画人で、思想・学識・才能・技術・技巧において、彼ほどの適任者は他に見出せないからである。

この映画は、勿論、娯楽映画ではなく、また映画芸術からもはみだしている。こんなやり方は、彼だからできることである。

この映画を見ながら若い頃教えられた、革命の時代においては、すべての芸術は宣伝・煽動に奉仕しなければならないという基本理念を思い出していた。

この映画は、労働者諸君によって今後もつぎつぎにつくられて行くそうである。

作ることも又即ち闘争だからである。この映画は、世の有識者に見てほしい、特に国鉄労働者全員に観てもらいたい。

昭和二十七年以来の旧友、宮島義勇氏の一層の奮闘を祈っている。

(五月二十九日)

## 物販・即売会も盛況

暖い支援・声援

協力にはげまされて

6月2日 東京東部上映会にて

(江東区総合区民センター公会堂) 即売会コーナー



おかげさまで好調なスタートを切り、全員忙しくはり切っております。ひきつぎ、県下・全国の取場におうかがいしますので、ご協力よろしくお願ひいたします。



試写会のあとで。右から、宮島監督、吉村監督、吉岡教宣部長。  
(1986年5月)

### 宮島撮影監督で作製した吉村監督の代表作品例

「夜明け前」 (1953年近代映協) '54・毎日映画コンクール撮影賞  
監督：吉村公三郎 主演：滝沢 修・小夜福子・乙羽信子

「足摺岬」 (1954年近代映協)  
監督：吉村公三郎 主演：木村 功・津島恵子

「女の坂」 (1960年松竹) '60・京都市民映画祭撮影賞  
監督：吉村公三郎 主演：岡田茉莉子・佐田啓二・河内桃子

「権樓の旗」 (1974年製作委員会)  
監督：吉村公三郎 主演：三国連太郎・中村敦夫・荒木道子